

学生献血推進 ボランティア 大募集！



『学生献血推進ボランティア』とは、広く県内に献血をPRし、献血の大切さや必要性を呼びかけている学生ボランティアのことです。

石川県内では、現在11の大学・短大等で学生献血推進ボランティアが活躍しており、そのメンバーで構成されるのが、『石川県学生献血推進委員会』です。

「命を救うために一人でも多くの方に献血を呼びかけたい！」
「ボランティア活動を通して、いろんなことを吸収したい！」
「みんなで力を合わせて、楽しくボランティア活動したい！」

様々な思いを持った学生献血推進ボランティアが、県内各地で献血のPRや献血の推進に活躍しています。

県内の大学・短期大学等に在籍する学生の方ならどなたでも参加できます。

献血したことのない方でも、献血できなくても大丈夫！

私たちと一緒に、献血推進ボランティアしませんか？



石川県学生献血推進委員会

学生献血推進ボランティア からのメッセージ

昔からボランティア活動に興味があり、大学進学を機に学生献血推進ボランティアに参加しました。これまで献血は自分には関係のないものだと思っていましたが、活動を通して献血の重要性に気づかされました。

誰かの役に立てるこの活動には、とてもやりがいを感じています。

多くの人と関わり、自分自身の成長にもつながるこの活動をこれからも続けていきたいと思えます。

金沢工業大学 3年 山本 真史 さん



友達と一緒に参加してみないか、と誘われて学生献血推進ボランティアの存在を知りました。

大学生になるまでボランティア活動をしたことがなく、この活動を通して、献血についての知識やみんなで活動をやり遂げたときの達成感など、普通に大学生活を送っているだけではできないような経験ができ、ボランティア活動の大変さも素晴らしいさも知ることができました。

今では、この活動に参加して本当によかったと思っています。

金沢星稜大学 3年 井坂 京乃 さん



参加申込・お問合せ

石川県学生献血推進委員会 事務局

〒920-0345 金沢市藤江北 4-445

石川県赤十字血液センター 献血推進課 内 (担当: 釜親、石川)

TEL (076) 254-6372 FAX (076) 254-6427

MAIL iubpc@ishikawa.bc.irc.or.jp



What's "KENKETSU"?

一日平均約 3,000 人の患者さんが輸血を受けています

病気などで、輸血を必要とする患者さんの数は年々増えており、一日平均で約 3,000 人もの患者さんが輸血を受けている計算になります。

しかも、治療によっては何リットルも必要となることもあるため、年間でおおよそ 1,900 万本もの血液製剤が医療機関に供給されています。

毎日献血にご協力をお願いしているのには理由があります

血液は人工的に造り出すことができないうえ、長期保存ができません。輸血用として使える有効期間があり、赤血球製剤は 21 日間、血小板製剤はわずか 4 日間です。

また、短期間に何度も献血にご協力いただくことはできません。

例えば 400mL 献血をした場合、次に 400mL 献血をできるのは、男性は 12 週間後(約 3ヶ月後)、女性は 16 週間後(約 4ヶ月後)です。

絶やすことなく常に血液を確保するために、毎日献血にご協力をお願いする必要があります。

10~30 代の献血者が、10 年で 30% も減少しています

日本の献血可能な 10~30 代の人口は、約 3,273 万人^{※1}と言われていたのですが、今後ますます少子化が進み、2020 年には 3,060 万人^{※2}、2030 年には 2,738 万人^{※3}と、著しく減少していくことが予想されています。

※1「人口推計(2015)」(総務省統計局) ※2、「将来推計人口」(国立社会保険・人口問題研究所)

若い世代の人口が減る一方、輸血を必要とする方はますます増えています。患者さんに血液を安定的にお届けするためには、これからを担う若い世代の方々に、積極的にご協力をいただくことがとても重要です。

献血は「怖い」? 「時間がかかる」?

「献血って針が痛そう」「注射が怖い」「時間がかかりそう」と、よく言われます。確かに、チクッとした痛みはありますが、それは最初だけ。採血中はほとんど痛みはありません。

また、献血にかかる時間は、受付～採血後の休憩まででおおよそ 40 分、その中でも実際に針をさしている時間は平均で 5~15 分^{※4}です。※4 成分献血を除く。誰かのために、ちょっとだけあなたの勇気と時間をかけてもらえませんか?

献血にご理解・ご協力をお願いします

献血ルームや献血バスを見かけたら、ほんのちょっとした勇気を出して、足を運んでみてください。また、献血できなくても、献血の必要性について身近な方に話していただくだけでも、誰かの命を助けるきっかけになります。

あなたには人の命を助ける力があります。献血にご理解・ご協力をお願いします。



献血ルーム ル・キューブ

金沢市袋町 1-1 かなざわほこまち3階

☎(076)220-1655



献血ルーム くらつき

金沢市鞍月東 1-1

☎(076)237-3745